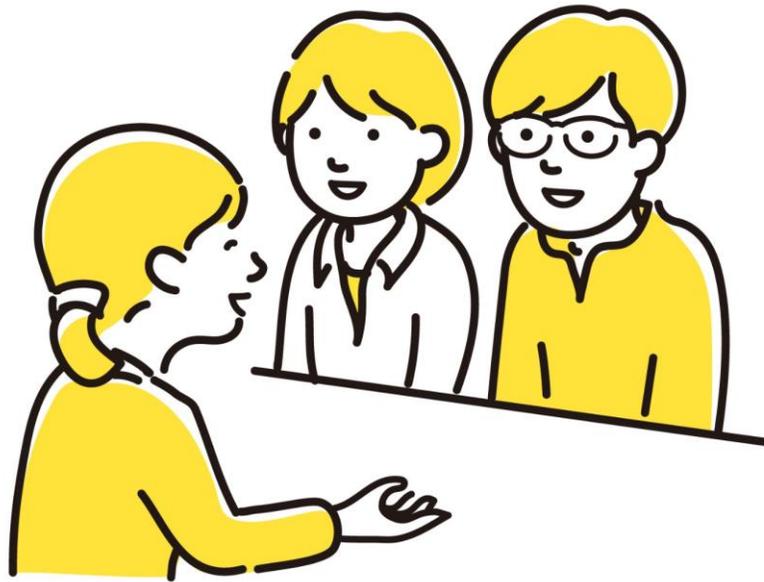


東京都若年性認知症総合支援センターについて



東京都若年性認知症総合支援センター
(特定非営利活動法人いきいき福祉ネットワークセンター)

駒井 由起子

(東京都認知症施策推進会議 令和6年6月28日)

東京都若年性認知症総合支援センターの概要

ワンストップ
包括的支援

アウトリーチ
地域へつなぐ

若年性認知症支援
コーディネーター
配置 (6人)

若年性認知症支援コーディネーター・・・

2015年～ 新オレンジプラン

役割

- 医療、就労、経済保障、介護、障害福祉、権利擁護などの情報をワンストップで提供
- 若年性認知症の人に関わる関係機関（職場も含む）やサービス担当者の調整役

■全都道府県・9政令都市配置 162人

2012年～

目黒センター

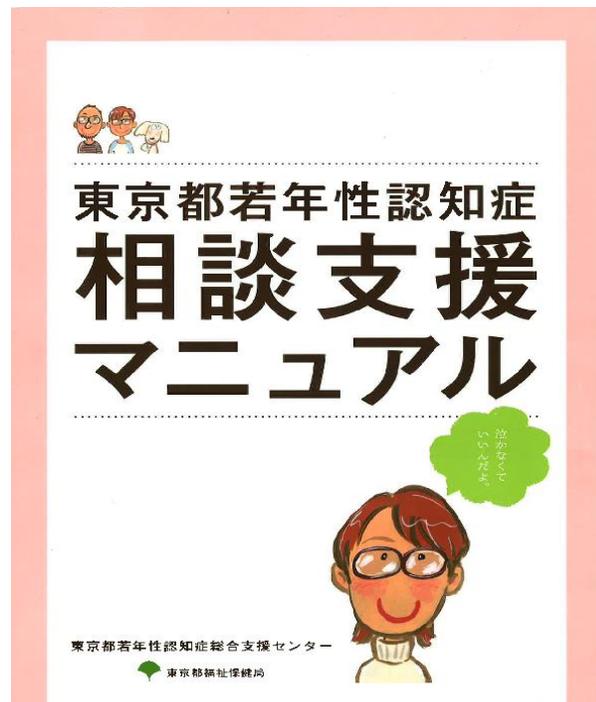
2017年～

多摩センター



東京都若年性認知症総合支援センターの事業

- ① 相談支援・サービス調整
- ② 本人家族への支援 若年性認知症ピアサポーター養成
- ③ 地域における相談支援機能の向上 若年性認知症相談支援研修（基礎編・フォローアップ編）
- ④ 関係機関との連携の推進 若年性認知症支援ネットワーク推進連絡会



就労継続支援B型

④若年性認知症支援ネットワーク推進連絡会

■目的

若年性認知症支援の連携を深める
各参加者の取り組みを知る
連携上の課題を共有する

■参加者

各地域の若年性認知症相談担当
若年性認知症本人会・家族会
・カフェ

令和6年7月19日 13:30~16:00

各地域の若年性認知症支援の取り組み と意見交換

◎杉並区ケア24（地域包括）間の連携によるインフォーマルな取組

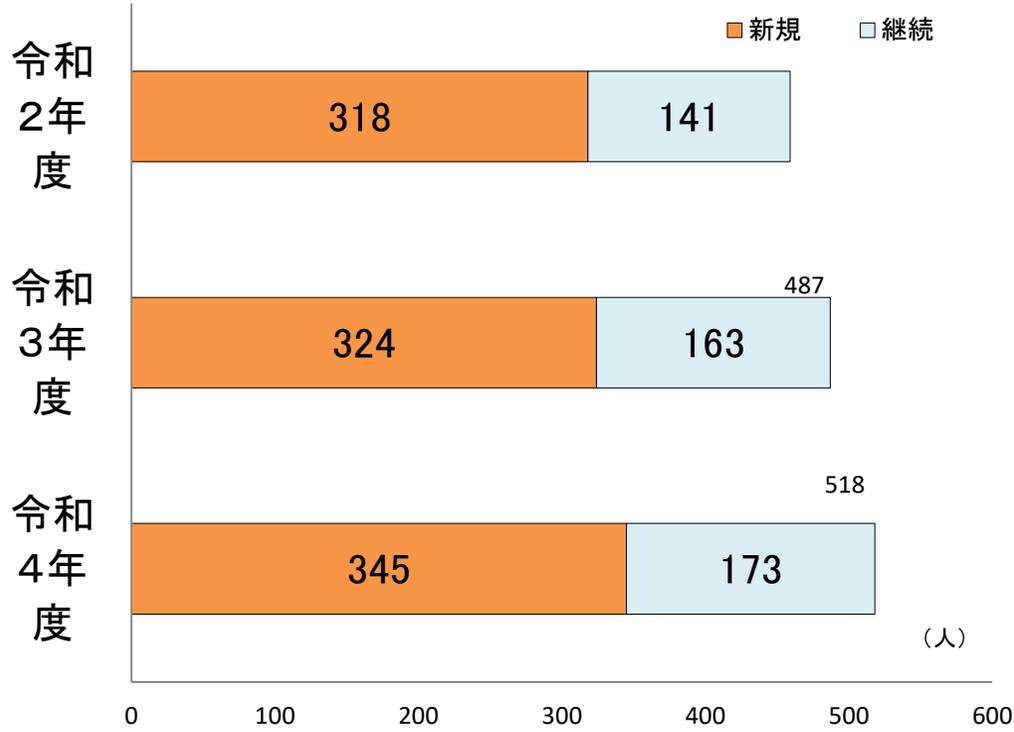
◎大田区認知症対応型通所介護での取組

◎家族による若年性認知症カフェの取組



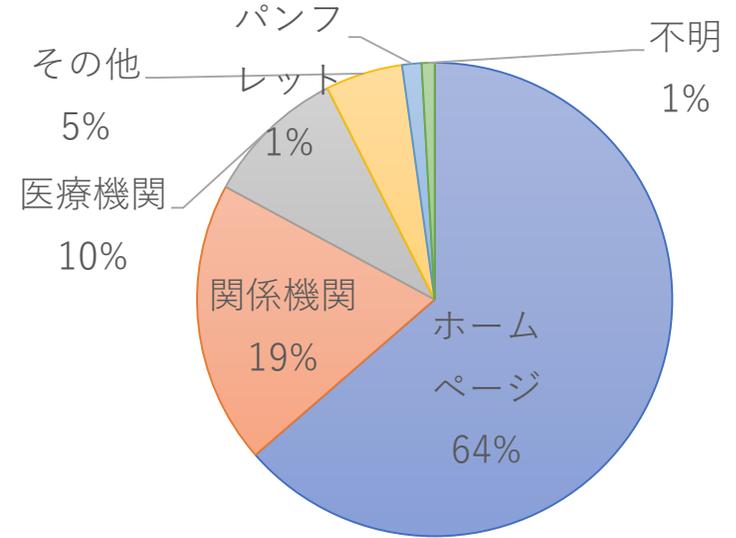
①相談支援・サービス調整の実績

相談実人数の推移(令和2年度～令和4年度)

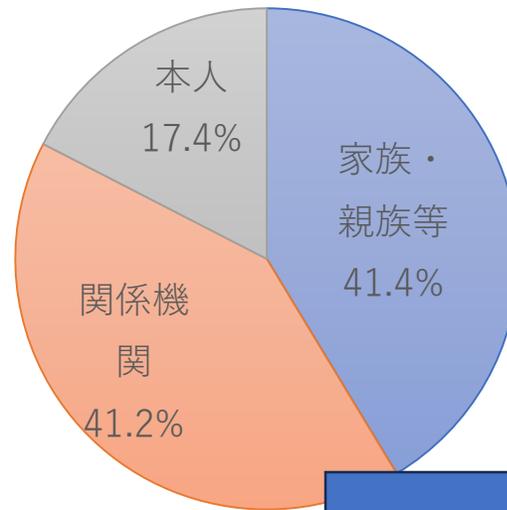


年間約500人 延件数約6500件

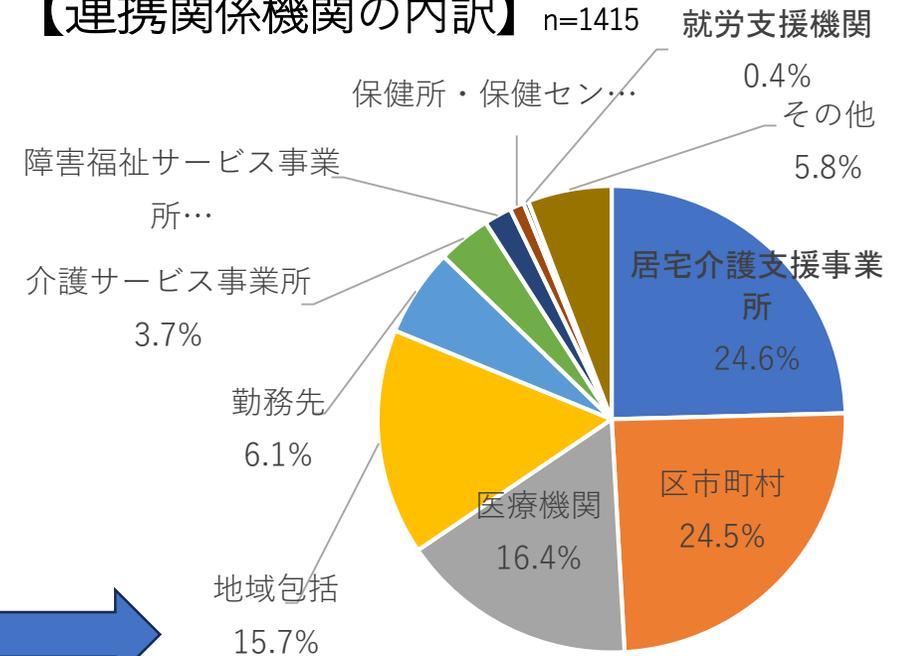
【相談につながった媒体】(n=228)



【相談者の内訳】 n=3433

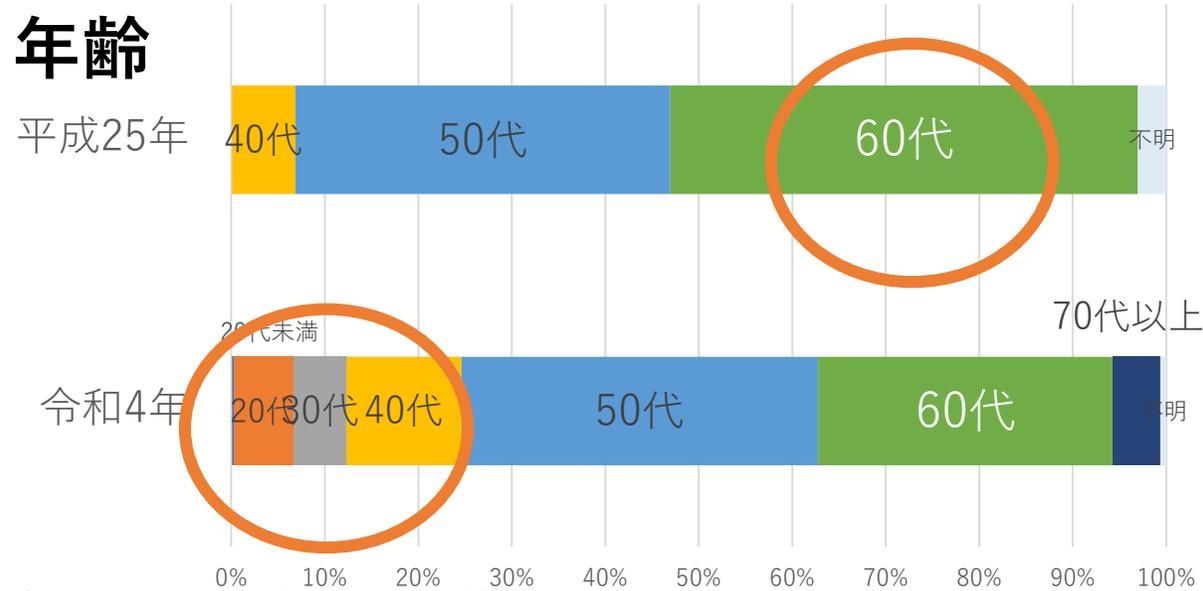


【連携関係機関の内訳】 n=1415

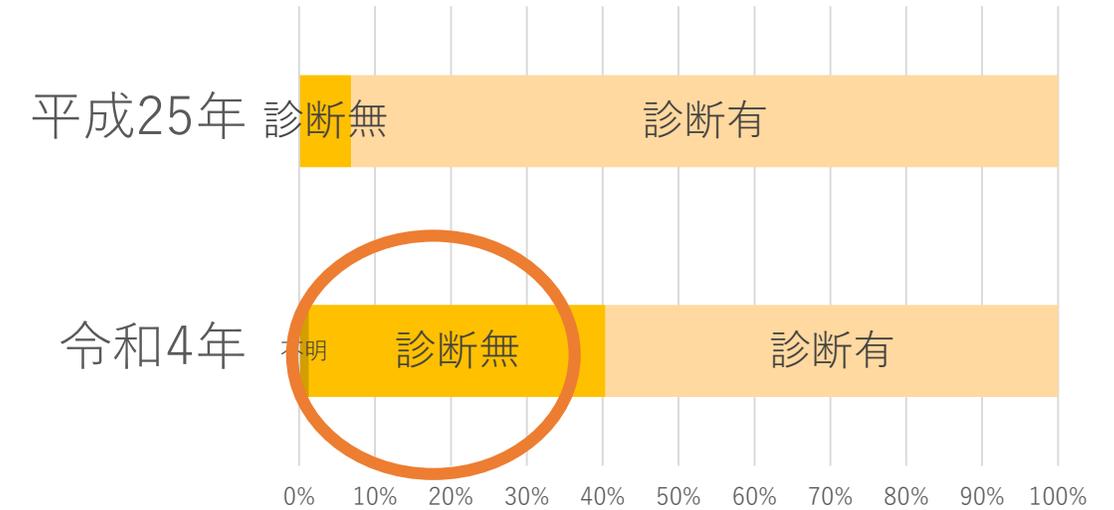


東京都若年性認知症総合支援センター相談の変化

年齢



診断の有無



介護度・本人の状態

■平成25年

- 要介護度3
- 診断から長期経過したケース
- 心理行動症状の悪化

■令和4年

- 要介護度1
- 診断後早期の相談ケース
- 退職直後・就労継続中

相談内容

- 就労の相談増加
- 社会資源の相談（施設）
⇒ 包括的な相談へ

進行ステージに応じた支援内容と主な支援機関

	MCI (診断前)	軽度	軽度～中等度 空白の期間	中等度	重度
人生のイベント 生活の経過	就労・主婦の役割 子育て・親の介護 病気の兆し	病気の理解・受け入れ 就労時の仕事変更～休職・退職へ	休職・退職 役割の喪失 地域での役割の獲得	ケア・介護の受け入れ～介護量の増加	ADL全介助・介護要の生活 が中心
支援内容	医療へのつなぎ	診断・治療の開始 就労継続支援	治療 経済的支援 福祉的就労 地域サービスの提供	治療 在宅介護サービスの提供	治療・入院 施設介護サービスの提供
主な支援機関と時期	若年性認知症支援 コーディネーター 医療機関	医療機関	地域包括支援センター・区市町村	介護支援専門員	

支援チームを作り就労から地域へつないだケース

- 50代男性 営業職 妻 子供（高校生、中学生、住宅ローンあり）
- 商品名を間違える、約束を忘れる、アルツハイマー型認知症診断
- 東京都若年性認知症総合支援センターに上司から相談



➤ **カンファレンス1**（支援チーム：本人・家族・主治医・上司・若年性認知症支援コーディネーター）
仕事のアセスメント 仕事・役職変更 / 本人・家族の不安の共有 / 職場へ研修「病気・接し方」

➤ **カンファレンス2**

- 本人、家族の不安 + 職場の疲労感
- 退職後の経済的保障と生活のイメージ 休職に向け地域包括支援センターと顔合わせ

制度外の援助

➤ **カンファレンス3**（支援チーム： + 地域包括支援センター、居宅介護事業所）

- 要介護1 介護保険サービス利用 本人の戸惑い / 精神科デイケア 促し・介助 対応不可
- ウォーキング・カフェ・若年性認知症の人の就労継続支援B（遠方） + 移動支援
- 若年性認知症の人の **マイケアプランシート（週間予定表）** 活用 主体的な生活リズムづけ

家族全体に介入が必要で、多くの関係機関と連携を行ったケース

- 40代女性、前頭側頭型認知症（診断後2年経過）、夫から連絡
- 生活パターン 3時に起きて洗濯、4時朝食のため子供を無理矢理起こす、コンビニからパンを持ち帰る、預金毎日引き出す
- 家族 子供（中1、小2）学校へ行きたがらない、母に怯える
実母・兄弟 夫への不信感
夫 不眠、疲労 相談支援者不在



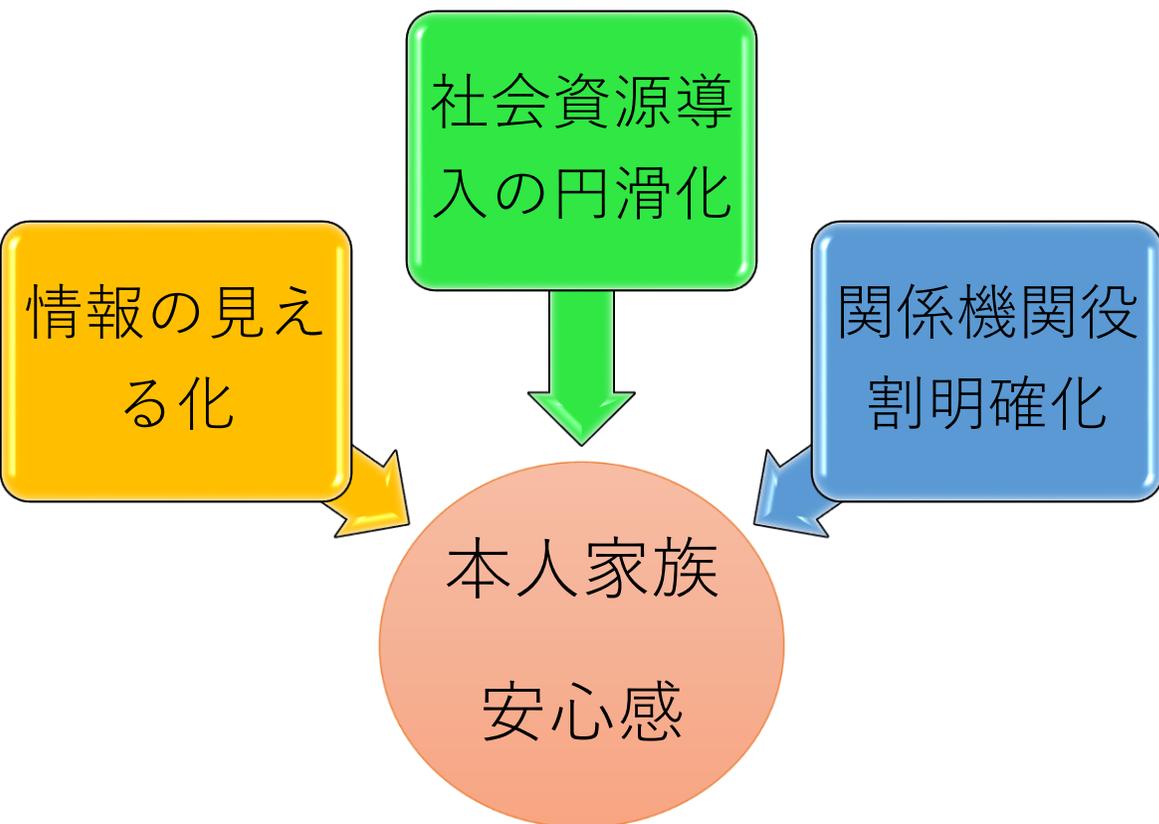
関係機関	サービス枠組み	支援内容
●●病院	治療・投薬	睡眠サイクル、行動障害への対応
▲▲居宅介護支援事業所	介護保険ケアプラン	デイサービス（生活パターン再構築）
××市子ども家庭支援センター	子育て支援	学校との連携、放課後・休日居場所の確保
××地域包括支援センター	地域の相談窓口、地域関係機関連絡調整	夫の疲労フォロー 権利擁護 地域見守りの連絡
東京都若年性認知症総合支援センター	若年性認知症相談窓口、関係機関全体の連絡調整	実母・兄弟のフォロー 夫の就労（介護休業提案）障害年金申請

隙間の支援

- 医療情報/本人、家族情報
- 社会資源利用状況
- 支援方針・支援計画
- 関係機関情報

若年性認知症支援連携シートについて

情報を共有・方針検討のツール
支援のエビデンス



若年性認知症支援連携シート②		記入日：平成	年	月	日
本人の情報					
主訴					
情報	ADL				
家族（介護者）の情報					
主訴					
情報	うつ性自己評価尺度（SDS）（ 点）介護負担感（Zarit）（ 点）				
支援について					
これまでの経過					
各連携機関担当者の意見のまとめ					
支援の方針					
支援の方策					

若年性認知症支援に関する課題について

■医療機関からの早期の連携（大都市の課題）

■空白の期間の社会参加

■区市町村と円滑な連携の仕組み

■相談支援者のスキルアップ

■支援困難ケースへの対応

